

GRACHAN チャレンジ ルール

2023/9/27

【育成（セミプロ） 枠※主催者推薦】 育成枠はエルボー、ニー、レッグサポーターを装着した上でプロ MMA とほぼ同様のルール。スタンド状態における顔面膝やヒールフックも有効。頭から落とすスラムは禁止。ヘッドギア無し。

【A クラス】 育成枠ルールに顔面膝、ヒールフック、頸椎や脊椎を捻る行為の禁止を追加。スラムは腰の高さまで。肘ありルール。

ヘッドギアは両者合意の下、装着の有無を選ぶことが出来る

【B クラス】 A クラスルールに肘による攻撃とスラムの禁止を追加。

肘無しパウンドありルール。ヘッドギア装着

【C クラス(ビギナー)】 B クラスルールにスタンド状態における顔面パンチの禁止を追加。

顔面への打撃はレガース装着部によるもののみ有効。どちらか一方でもグラウンド状態になったら一切の打撃禁止。指先でもグラウンド。ヘッドギア装着。

試合/時間

1. A クラス

通常の試合: 3分間の 2 ラウンドで、ラウンド間のインターバルは 1 分。

プロ昇格トーナメントやリーグ戦: 4 分の 1 ラウンド。

判定

通常の試合: 時間切れの場合、三者判定を行う。

トーナメントやリーグ戦: 時間切れの場合、マスト判定となる。

2. B クラス & C クラス

試合は 3 分間の 2 ラウンドで、ラウンド間のインターバルは 1 分。

判定

時間切れの場合、試合はドローとなる。

反則について

グラウンドポジション: 足部（足首より下の部分）以外の部分がマットに接触している状態。ただし、指先の接触は除外。

反則行為

- (1) 頭突き
- (2) 目潰し
- (3) 噛み付く
- (4) 相手に唾を吐く
- (5) 髪を引っ張る
- (6) フィッシュフッキング⁶
- (7) 股間へのあらゆる攻撃
- (8) 相手の体の開口部や傷口、裂傷部に指を入れる
- (9) 小さな関節(手足の指)を巧みに操る攻撃(small joint manipulation)
- (10) 肘の先端を下に打ち落とす行為(肘を縦に振り下ろす打撃攻撃)
- (11) グランドポジションでの相手に対する踏み付け
- (12) 相手の顔や目に向けて広げた指を向ける行為
- (13) 喉へのあらゆる打撃、気管を掴む行為
- (14) 皮膚を掴む、つまむ、ひねる
- (15) グランドポジションの選手の頭部・顔面に対する足による打撃攻撃
- (16) フェンスや試合場を構成する部位を掴む
- (17) 相手のコスチュームやグローブを掴む
- (18) 試合場内で口汚い言葉を吐く
- (19) 相手の負傷の原因となるようなあらゆる非スポーツマン的⁷行為
- (20) ブレイク中の相手への攻撃
- (21) レフェリーのチェックを受けている最中の相手への攻撃
- (22) ラウンド終了の合図が鳴らされたあとでの相手への攻撃
- (23) 相手との接触を避けるあらゆる消極的な姿勢(意図的または継続してマウスピースを落とす、怪我のふりをする事など)
- (24) 試合場外に相手を投げ⁸る
- (25) 審判員の指示を著しく無視する
- (26) 相手の頭や首をキャンパスに突き刺す(いわゆるスパイク⁹)
- (27) 頭部から落とすスラム
- (28) 競技場の状態により主催者の判断でスラムを反則に規定することができる
- (29) 審判員の塗布するワセリン以外の塗布物を塗布する行為
- (30) 試合前に審判員によるチェックを受けていないテーピングや競技用具の着用
- (31) 審判員に対する虚偽のアピール、言動
- (32) 試合用コスチューム、マウスピース、ファウルカップ等の競技用具を破損し、試合続行を不可能にする行為

体重階級

(1) 試合は次の 11 階級及び無差別級において行われる。

- 1) 無差別級..... 93.0kg 以上
- 2) ライトヘビー級... 93.0kg 以下 83.9kg 以上
- 3) ミドル級..... 83.9kg 以下 77.1kg 以上
- 4) ウェルター級..... 77.1kg 以下 70.3kg 以上
- 5) ライト級..... 70.3kg 以下 65.8kg 以上
- 6) フェザー級..... 65.8kg 以下 61.2kg 以上
- 7) バンタム級..... 61.2kg 以下 56.7kg 以上
- 8) フライ級.....56.7 kg 以下 52.2kg 以上
- 9) ストロー級..... 52.2kg 以下 47.6kg 以上
- 10) アトム級..... 47.6kg 以下

競技用具等 必ず着用しなければならない競技用具

- (1) オープンフィンガーグローブ (2) マウスピース
- (3) ムエタイカップ° (金属製のカップを紐で固定するタイプのもの。プラスチック製やサポーター型の履くタイプのファールカップの使用は認められない)(男子)
- (4) 男子競技者用コスチューム 男子上半身:裸または半袖のラッシュガード° (身体にフィットしたもの)。ダブついた T シャツの使用不可
男子下半身:MMA ショーツ、ファイトショーツ、キックボクシングショーツ、ショートスパッツ等

- i)金属・プラスチック・ファスナーなどの部品が使用されていないもの
- ii)着用時にずれないための加工がされているもの
- iii)ポケットや紐に類するものが表側に付いていないもの
- iv)膝上丈までのもの
- v)清潔で破損の無いもの
- vi)ショーツの下にショートスパッツを履く場合、ショーツの丈を超えるものを着用してはならない。
- vii)その他、審判員により競技上支障がないと判断されたもの
- (6) ニーサポーター(クッション性のあるもの。各自持参)
- (7) レッグサポーター(クッション性のある履くタイプの物に限る。マジックテープなどで巻き付けて使用するタイプの物は不可。各自持参)
- (8) エルボーサポーター(主催による貸与)
- (9) 女子競技者用コスチューム 全て膝上丈、肘丈までとする(ラッシュガード、

セパレート、ワンピース等)(女子) ※コスチュームやファールカップなどの競技用具は、破損に備え予備も準備することが望ましい。

任意で着用できる競技用具

(1)バンテージ及びテーピング

1) 競技者は、手にバンテージを巻く場合、拳の前面部(ナックルパート)および拳骨部分にテーピングを使用してはならない。ただし、指と指の間に細く切ったテープを通すことは認められる。

2) バンテージ、テーピングの内部に芯、紙縊り、その他の異物を巻き込んではいない。

3) 拳に装着した状態で拳骨の形が確認できない厚さに巻いてはならない。

4) 肘、膝の部分をバンテージやテーピングで覆ってはならない。

(2)サポーター 競技者は、金属・プラスチック・硬質ゴム等の部品が使用されておらず、また、緩衝素材等によるバッティングがされていない布製またはネオプレン製のものと、

審判員が競技に支障がないと認めるサポーター類を下肢(膝、足首)に着用することができる

(3)半袖のラッシュガード (男子)

(3)アブドメンガード (女子)

(4)チェストガードまたは胸部のパッド (女子) セコント セコンドの人数 (1)2 名

提訴

提訴は一切認められない。